

リーディングDXスクール事業【AIパイロット校】

幸手市立行幸小学校（埼玉県）【指定校】

<校務利用>①様々な教育的ニーズのある児童への支援方法に係る情報収集 等

【概要】

様々な教育的ニーズがある子どもたちに対する家庭での支援方法について、情報を収集し、精査した内容を保護者に提供し、支援の在り方について、ともに考える。

【実施方法】 教員が生成AIを活用

【入力例（プロンプト）】

- 片付けが苦手な小学生へのアドバイス
- 自ら宿題を行わない小学生への親からのアドバイス
- ローマ字を覚えることが苦手な児童の学習方法
- ノートへの書字が乱雑な小学生が、見やすく書くためのアドバイス 等

【効果と課題】

- 短時間で複数の支援方法に係る情報を収集することができる。
 - 情報の根拠（出典）等を確認することにより、内容の精査を図ることができる。
 - 複数の方法を提示することができることから、保護者自身が実現可能な支援方法を考えることができる。
 - 経験の少ない教員にとって、情報が参考資料となる。
- ▲児童の実態等に応じて精査が必要であり、扱いに十分な配慮が必要である。



リーディングDXスクール事業【AIパイロット校】

幸手市立行幸小学校（埼玉県）【指定校】

<教育利用>③第4学年国語科における生成AIの活用

【単元名・教材名】詩を味わおう「ぼくは川」

【目標】

- ・詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。
- ・詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。



【生成AI活用の概要】

- ①詩について自分の考えをもつ
- ②AIの考えを参考にする
- ③再度、自分の考えを整理し、自分の読みを深める

【準備】

詩「ぼくは川」の文を添付し、「詩の中で『ぼく』が語りかけている相手は誰か、またその相手に対してどのような思いをもっているか教えてください」と入力する。

【実施方法】教員が入力

【効果と課題】

- この詩の「ぼく」は、「川そのものを指している」という考えと、「川にたとえられた『ぼく』」という考えのどちらも詩の魅力を深めることを児童が感じ取っていた。
- 生成AIの考えを参考に、どちらの解釈が自分に近いかを考えたり、自分の考えを見直したりする姿も見られた。
- 教材研究の視点からも、生成AIの情報は、指導に活かすことができた。
- ▲「生成AIの考えは、これです」と児童に提示すると、児童の中には、「生成AIが言っているから正しい」と思いこむ可能性があるため、発達の段階や情報活用能力の育成状況等に応じて、提示の際の言葉がけに留意する必要がある。